

会議結果報告

1 会議の名称

平成30年度第1回光市環境審議会

2 開催日時

平成30年10月25日（木）15時～16時

3 開催場所

市役所本庁3階 第5会議室

4 出席人数

委員11人（3人欠席）、事務局7人、傍聴2人

5 公開・一部非公開の別

公開

6 会議の議事録（要旨）

（1）開会

（2）会長あいさつ

最近は、昼夜の温度差が大きくなってきた。皆さん、お変わりないか。

この会は、家族的な友だち仲間のような関係、敷居は高くないので、ぜひご自由にご発言いただきたい。

（3）議事

ア 平成30年度環境関連施策（プロジェクト関連事業）について

事務局より配布資料に沿って説明

【質疑・意見等】

（委員）

アルゼンチンアリについて、一斉防除を行い、生息調査の結果、変化がなかったとのことであるが、これは、一斉防除の効果があったということで理解してよいのか。

（事務局）

アルゼンチンアリは習性上増加することが予想されるが、一斉防除によって、なんとか広がり食い止めている状況。今後も、地元と皆さんとともに絶滅に向けて努力したい。

（委員）

「ひかりエコくらぶ」というのは、環境省の方に登録して活動するものなのか、光市独自で立ち上げたものか。

(事務局)

市の単独事業である。

(委員)

エコスタイルセミナーにおいて講演を聴いたが、その際に見たDVDで、プラスチックごみの問題が深刻であることを知った。例えば、ストローなどはよく取り上げられているが、光市として自然のストローに代えていくというような取組みをしてはどうかと思う。(提案)

(事務局)

貴重なご意見として、今後検討していきたい。

(委員)

牛島や尾島で、ごみが積み上げられているのが散見される。どのようにしたらいいものか。

(委員)

漁業者が、漂着ごみや底引き網にかかったごみを回収するという取組みは実施している。

最近は特に、レジ袋を海に捨てる人が多く、持って帰っても減らない状況。

(委員)

いろいろな海に調査に行くが、どこの海にも相当量のごみがある。生態系への影響が気になるところであるが、今後、大きな問題になると思っている。

イ 光市の環境について

事務局より配布資料に沿って説明

【質疑・意見等】

(委員)

大腸菌のことは、これまでずっと言われてきているが、県の環境白書においても、島田川の特質ということで掲載されている。この問題は、永久的な課題として残るのではないか。

(委員)

下水道の普及率は、現在、どうなっているか。

(事務局)

平成29年度末で80.4%である。

(委員)

100%を目標としているのか。

(事務局)

整備が難しいところが残っている状況。おおむね8割と考えている。

(事務局)

大腸菌群数の数値のことであるが、土壤に生息する大腸菌群が雨などによって川に流れるなどの要因で数値が上がるというようなこともあることから、一概に汚いということではない。

(委員)

医学的に、私たちに、どのような害があるのか。

(委員)

大腸菌が、何に起因するものなのかによる。知る限りでは、害があると聞いたことはない。

エ その他

参考資料の説明並びに次回の審議会の開催について案内

(4) 閉会

(部長あいさつ)

本日は、お忙しい中ご出席いただき感謝申し上げます。今年度は、後期リーディングプロジェクトのスタートの年であり、LED照明の導入や子どもたちへの環境学習に力を入れているところ。今後、こういった取組みをいかに後年度に繋げ、充実させていくかが重要であることから、各取組みの反省と改善策の立案に努めてまいりたい。

本市が目指す環境像「人に自然に やさしさあふれる環境都市 ひかり」の実現に向け、様々な取組みを進めてまいりたいと考えていることから、委員の皆様には引き続きご支援、ご協力をお願いしたい。